

ロボットってこんなに便利なのです

八戸工業研究所では協働ロボットを含む計6機種の産業用ロボットを擁した「ロボット試験室」を供用しています。皆さんの製造現場の工程改善のために、ロボットを触って試すことができます。

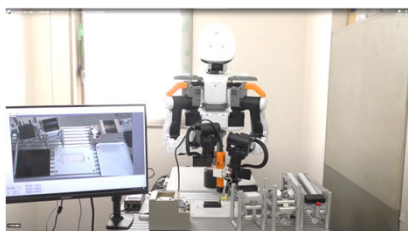
研究成果の概要

1 背景・目的

人手不足と生産性向上に苦慮している製造現場の課題に対し、コロナ対策と生産性向上を両立させた「新しい生産様式」への移行を促し、「人とロボットがともに働くものづくり」の実現に貢献します。ロボット導入検討、実証試験などにぜひご活用ください。

2 内容

- 様々な省力化のヒントとして、ロボットシステムによる自動化モデルを公開しています。



双腕型協働ロボットによる
ねじ締め



アーム型協働ロボットによる
工作機械へのワーク自動供給



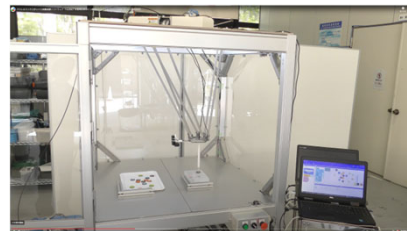
スカラ型ロボットによる
チョコレート菓子の箱詰め



アーム型高速ロボットによる
アルミ板の仕上げ加工



無人搬送機による
搬送の省力化



パラレルリンクロボットと画像処理
ソフトウェアによる選別作業

3 活用等

- これらロボットは時間単価が設定されている開放機器です。利用の際には下記ホームページを参照してください。
- この他、ロボット導入にかかるご相談をお受けしており、見学も随時受け付けております。

関連情報

- ロボット試験室ホームページ <https://www.aomori-itc.or.jp/robot/>
- これらロボットは国、青森県の支援を受けて令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金事業にて整備したものです。
- 一部のモデルシステムは青森県三八地域県民局重点事業（R4～6）にて開発しました。

